



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 株式会社クルーバー 上場取引所 東
 コード番号 7134 URL <https://www.croooober.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大塚 康雄 TEL 045-988-5777
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|---|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 7,821 | — | 532 | — | 531 | — | 315 | — |
| 2021年3月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 314百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第3四半期 | 148.17 | 146.55 |
| 2021年3月期第3四半期 | — | — |

- (注) 1. 2021年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年3月期第3四半期の数値及び2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。
2. 2021年6月29日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 当社は、2021年12月23日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場したため、当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から当第3四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 5,453 | 3,001 | 55.0 |
| 2021年3月期 | 4,005 | 1,771 | 44.2 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 3,001百万円 2021年3月期 1,771百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | — | — | 4,850.00 | 4,850.00 |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2022年3月期（予想） | — | — | — | 45.00 | 45.00 |

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2021年6月29日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,475 | 5.6 | 660 | 47.2 | 663 | 42.4 | 400 | 37.5 | 177.70 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期3Q | 2,624,500株 | 2021年3月期 | 2,112,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期3Q | ー株 | 2021年3月期 | ー株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2022年3月期3Q | 2,128,773株 | 2021年3月期3Q | ー株 |

（注）1. 2021年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年3月期第3四半期における期中平均株式数を記載しておりません。

2. 2021年6月29日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の停滞等の影響が懸念されたものの、ワクチン接種率の上昇や感染者数の減少に伴う景況感の改善により、堅調に推移しました。しかしながらオミクロン株等の新たな変異株の感染拡大により、先行きが不透明な状況が続いております。

国内の自動車関連市場としては、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった前年同期と比べ、上期の新車販売台数は増加傾向にあり、中古車販売台数は前年水準を維持しておりましたが、下期は世界的な半導体不足等の影響によって、新車販売台数・中古車販売台数共に減少傾向となりました。

そのような市場環境の中、子会社㈱アップガレージにおいては、前年同期は移動手段として公共交通機関から自家用車へのシフト、新車買い控えによるパーツやタイヤ・ホイールの買替需要により店舗及びECが非常に好調となっておりますが、当第3四半期連結累計期間も引き続き店舗及びECが好調に推移しており、特に店舗におけるスタッドレスタイヤ・ホイールの販売等が増加し、直営店舗における既存店売上高の対前年同期比は104.6%となりました。

フランチャイズ関連についても、フランチャイズ店舗の増収によるロイヤリティ、EC手数料、その他付帯収入が順調に推移いたしました。

この結果、リユース業態(直営店舗運営、フランチャイズシステムの運営、ECサイト運営)による収入は4,836百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末時点の直営店及びフランチャイズ店の業態別の合計店舗数は、241店舗となり、その内訳は、「アップガレージ」127店舗、「アップガレージ ライダース」60店舗、「アップガレージ ホイールズ」12店舗、「アップガレージ ツールズ」25店舗、「パーツまるごとクルマ&バイク買取団」17店舗となっております。なお、直営店及びフランチャイズ店の拠点数の合計は160拠点となっております。

当第3四半期連結会計期間末時点の各業態別の店舗数は次のとおりであります。

(単位：店)

| | アップガレージ | アップガレージ ライダース | アップガレージ ホイールズ | アップガレージ ツールズ | パーツまるごと クルマ&バイク買 取団 | 合計 |
|-----|------------|------------------|------------------|-----------------|---------------------------|------------|
| 直営店 | 22 (△1) | 12 (△1) | 4 (－) | 6 (－) | 2 (－) | 46 (△2) |
| FC店 | 105 (3) | 48 (5) | 8 (－) | 19 (－) | 15 (1) | 195 (9) |
| 合計 | 127 (2) | 60 (4) | 12 (－) | 25 (－) | 17 (1) | 241 (7) |

(注) ()は期中増減数を表しております。

子会社㈱ネクサスジャパンにおいては、半導体不足の影響によるカーナビ等の受注減といった懸念がございましたが、「ITプラットフォーム」(受発注システム)においては既存取引先の受注増加及び新規取引先の増加により好調に推移いたしました。「東京タイヤ流通センター」は、加盟店の増加により堅調に推移いたしました。

この結果、流通卸売業態による収入は2,973百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末時点の「東京タイヤ流通センター」ブランドの直営店及びフランチャイズ店の加盟店合計は169店舗となっております。

新規事業となる、自動車関連業界に専門特化した人材紹介業態「BoonBoonJob(ブーンブーンジョブ)」も、企業の採用活動活性化に伴い順調に契約企業及び登録者が増加いたしました。

この結果、その他の収入は11百万円となりました。

販売費及び一般管理費としては、ECを中心とした新規顧客の獲得に伴う広告宣伝費等の増加、店舗スタッフの増加による人件費の増加があったものの、全体としては新型コロナウイルス感染症の影響として出張の減少、各種ミーティングのWEB化等によりコスト削減が進みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高7,821百万円、営業利益532百万円、経常利益531百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益315百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

| | 前連結会計期間末 | 当第3四半期連結 会計期間末 | 増減 | 増減率 (%) |
|-----|----------|-------------------|-------|---------|
| 総資産 | 4,005 | 5,453 | 1,448 | 36.2 |
| 負債 | 2,234 | 2,452 | 218 | 9.8 |
| 純資産 | 1,771 | 3,001 | 1,230 | 69.5 |

(資産)

流動資産は3,683百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,368百万円増加いたしました。これは主に、その他の流動資産が26百万円減少した一方で、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)への上場に伴う新株発行により現金及び預金が1,215百万円、売掛金が189百万円増加したことによるものであります。

固定資産は1,770百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産が41百万円減少した一方で、ソフトウェア開発に伴い無形固定資産が74百万円、新規出店等による設備投資に伴い有形固定資産が50百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は5,453百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,448百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は2,033百万円となり、前連結会計年度末に比べ219百万円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が200百万円、その他の流動負債が139百万円減少した一方で、長期借入金の転換及び運転資金の確保によって短期借入金が500百万円、買掛金が129百万円増加したことによるものであります。

固定負債は419百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。これは主に、資産除去債務が19百万円、リース債務が16百万円、長期預り保証金が5百万円増加した一方で、長期借入金が41百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円増加いたしました。

(純資産)

純資産合計は3,001百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,230百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当102百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益315百万円の計上及び東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)への上場に伴う新株発行により資本金が509百万円、資本剰余金が509百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月23日に公表いたしました、2022年3月期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2022年2月7日公表の「2022年3月期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 827,537 | 2,042,992 |
| 売掛金 | 754,850 | 944,224 |
| 商品 | 584,277 | 574,411 |
| その他 | 148,688 | 122,248 |
| 流動資産合計 | 2,315,354 | 3,683,876 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 941,016 | 984,704 |
| 減価償却累計額 | △403,799 | △416,355 |
| 建物及び構築物(純額) | 537,216 | 568,349 |
| 機械装置及び運搬具 | 261,556 | 270,041 |
| 減価償却累計額 | △169,027 | △179,899 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 92,528 | 90,142 |
| 工具、器具及び備品 | 329,875 | 322,370 |
| 減価償却累計額 | △274,725 | △269,135 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 55,149 | 53,234 |
| 土地 | 168,282 | 167,908 |
| リース資産 | 25,011 | 52,190 |
| 減価償却累計額 | △19,804 | △22,574 |
| リース資産(純額) | 5,207 | 29,615 |
| 有形固定資産合計 | 858,384 | 909,249 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 147,671 | 222,128 |
| その他 | 43,972 | 44,480 |
| 無形固定資産合計 | 191,643 | 266,608 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 17,686 | 18,561 |
| 長期貸付金 | 175,007 | 169,606 |
| 繰延税金資産 | 97,999 | 56,839 |
| 敷金及び保証金 | 325,753 | 326,085 |
| その他 | 23,464 | 23,163 |
| 投資その他の資産合計 | 639,910 | 594,254 |
| 固定資産合計 | 1,689,938 | 1,770,113 |
| 資産合計 | 4,005,293 | 5,453,989 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 468,939 | 598,230 |
| 短期借入金 | 400,000 | 900,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 259,988 | 59,988 |
| リース債務 | 8,156 | 13,449 |
| 未払金 | 158,081 | 143,118 |
| 未払法人税等 | 151,664 | 91,863 |
| 賞与引当金 | 26,837 | 51,931 |
| ポイント引当金 | 41,568 | 15,297 |
| その他 | 298,976 | 159,660 |
| 流動負債合計 | 1,814,213 | 2,033,539 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 95,043 | 53,385 |
| リース債務 | 11,874 | 27,922 |
| 長期預り保証金 | 180,690 | 186,290 |
| 資産除去債務 | 132,266 | 151,512 |
| その他 | 13 | 3 |
| 固定負債合計 | 419,887 | 419,113 |
| 負債合計 | 2,234,100 | 2,452,652 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 10,000 | 519,220 |
| 資本剰余金 | 377,225 | 886,445 |
| 利益剰余金 | 1,385,051 | 1,598,033 |
| 株主資本合計 | 1,772,276 | 3,003,698 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,092 | 2,669 |
| 為替換算調整勘定 | △3,177 | △5,031 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,084 | △2,361 |
| 純資産合計 | 1,771,192 | 3,001,337 |
| 負債純資産合計 | 4,005,293 | 5,453,989 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|------------------|--|
| 売上高 | 7,821,387 |
| 売上原価 | 4,549,690 |
| 売上総利益 | 3,271,697 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,739,402 |
| 営業利益 | 532,295 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息及び配当金 | 1,274 |
| 受取手数料 | 5,002 |
| 受取保険料 | 9,535 |
| その他 | 4,502 |
| 営業外収益合計 | 20,314 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 4,506 |
| 支払補償費 | 6,421 |
| 上場関連費用 | 9,717 |
| その他 | 726 |
| 営業外費用合計 | 21,372 |
| 経常利益 | 531,237 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 1,445 |
| 特別利益合計 | 1,445 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 935 |
| その他 | 12 |
| 特別損失合計 | 947 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 531,735 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 175,459 |
| 法人税等調整額 | 40,862 |
| 法人税等合計 | 216,321 |
| 四半期純利益 | 315,413 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 315,413 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|-----------------|--|
| 四半期純利益 | 315,413 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | 576 |
| 為替換算調整勘定 | △1,853 |
| その他の包括利益合計 | △1,277 |
| 四半期包括利益 | 314,136 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 314,136 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年12月23日に東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) に上場いたしました。上場にあたり、2021年12月22日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式512,500株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ509,220千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が519,220千円、資本剰余金が886,445千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することいたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

当社グループはカー&バイク用品関連の買取、販売及びその付随業務からなる単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。